

## 2022年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年4月13日

上場会社名 富士精工株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 6142 URL <https://www.c-max.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 龍城  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部門長 (氏名) 近藤 規央 TEL 0565-53-6611  
 定時株主総会開催予定日 2022年5月18日 配当支払開始予定日 2022年5月19日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年5月19日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年2月期の連結業績（2021年3月1日～2022年2月28日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期	20,100	15.8	359	—	823	750.0	665	—
2021年2月期	17,354	△18.8	△69	—	96	△92.7	△24	—

（注）包括利益 2022年2月期 1,768百万円（472.9%） 2021年2月期 308百万円（△43.6%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年2月期	183.24	—	3.5	3.1	1.8
2021年2月期	△6.77	—	△0.1	0.4	△0.4

（参考）持分法投資損益 2022年2月期 58百万円 2021年2月期 △55百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期	26,908	22,260	73.8	5,550.62
2021年2月期	25,665	20,741	72.4	5,069.80

（参考）自己資本 2022年2月期 19,858百万円 2021年2月期 18,594百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年2月期	2,135	△1,108	△818	8,690
2021年2月期	1,448	△1,220	△94	8,189

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年2月期	—	25.00	—	15.00	40.00	146	—	0.7
2022年2月期	—	15.00	—	20.00	35.00	126	19.1	0.7
2023年2月期（予想）	—	25.00	—	25.00	50.00		28.4	

### 3. 2023年2月期の連結業績予想（2022年3月1日～2023年2月28日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,860	7.7	290	△7.4	410	△33.6	240	△46.0	66.06
通期	21,960	9.3	770	114.1	990	20.2	640	△3.9	176.16

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2022年2月期	4,306,778株	2021年2月期	4,306,778株
2022年2月期	729,062株	2021年2月期	639,105株
2022年2月期	3,632,984株	2021年2月期	3,667,777株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年2月期の個別業績（2021年3月1日～2022年2月28日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期	10,722	4.7	△208	—	158	—	295	—
2021年2月期	10,237	△21.1	△274	—	△16	—	△21	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期	81.47	—
2021年2月期	△5.83	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2022年2月期	17,742	15,697	15,697	15,668	88.5	4,387.67	4,387.67	
2021年2月期	18,205	15,668	15,668	15,668	86.1	4,271.93	4,271.93	

(参考) 自己資本 2022年2月期 15,697百万円 2021年2月期 15,668百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、前連結会計年度から続く新型コロナウイルスの感染拡大により、また、米中の貿易摩擦などによる先行きの不透明さが継続している状況にあり、当社グループの受注環境及び生産態勢は依然として不透明感が続いております。さらに、世界的な半導体不足及び原油高の影響が顕在化してきた中で、ウクライナ情勢の緊張が激化し、先行きの不透明感が極めて強まっている状況となっております。

わが国経済におきましても、政府による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出と解除が繰り返されている状況にあり、一部の業種に持ち直しの兆しが見えるなど国内経済は緩やかに回復しつつあるものの、新型コロナウイルスの感染拡大前の水準には至っておりません。

当社グループの主要な取引先であります自動車産業界におきましては、電動化の推進、自動運転や安全装備などの技術開発への投資は継続されるものの、東南アジアからの部品供給不足や世界的な半導体不足の影響により生産額の計画値に対して下振れリスクが懸念され、先行きの不透明感が強まっている状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは工作機械の製造に実績のある志賀機械工業株式会社を新たな仲間として迎え、収益基盤の強化を図るべく新たな取り組みを開始しております。また、データとデジタル技術を活用し、新たなビジネススタイルを創造していくことを目的としたDX管理室を新設し、中期的な競争力の強化を狙った活動を行っております。

この結果、当連結会計年度における業績は、売上高は20,100百万円（前連結会計年度比15.8%増）、営業利益は359百万円（前連結会計年度は69百万円の営業損失）、経常利益は823百万円（前連結会計年度比750.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は665百万円（前連結会計年度は24百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①日本

当地域におきましては、足元の設備投資は回復傾向にあり、工具、治具等の需要が増加したことなどにより、売上高は8,989百万円（前連結会計年度比6.5%増）となりました。

しかしながら、製造工程の一部休業を余儀なくされるなど、依然として生産性の回復に至らず、セグメント損失は222百万円（前連結会計年度は279百万円のセグメント損失）となりました。

#### ②アジア

当地域におきましては、中国を中心に、新型コロナウイルスの感染拡大により失速していた自動車生産が回復し、売上高は5,996百万円（前連結会計年度比18.7%増）となりました。

また、労務費高騰などにより固定費負担が増加したものの、中国子会社を中心に生産性の改善が進んだことなどにより、セグメント利益は143百万円（前連結会計年度は137百万円のセグメント損失）となりました。

#### ③北米・中米

当地域におきましては、個人消費を中心に需要が増加し、自動車産業界も一時は供給が追い付かない状況となるなど、国内生産が好調に推移したことから、売上高は2,347百万円（前連結会計年度比33.7%増）となりました。

また、まとまった受注が入ることで生産性が大幅に向上し、セグメント利益は160百万円（前連結会計年度比30.9%増）となりました。

#### ④オセアニア

当地域におきましては、断熱材の需要が引き続き堅調に推移したことより、売上高は2,082百万円（前連結会計年度比27.9%増）となりました。

また、堅調な受注に支えられ利益を確保することとなり、セグメント利益は178百万円（前連結会計年度比21.8%増）となりました。

#### ⑤その他

当地域におきましては、売上高は684百万円（前連結会計年度比42.1%増）、セグメント利益は60百万円（前連結会計年度比926.5%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末の総資産は26,908百万円となり、前連結会計年度末と比較して、1,243百万円増加いたしました。これは主に、土地673百万円、現金及び預金614百万円がそれぞれ増加したことなどによるものであります。

## (負債)

当連結会計年度末の負債は4,648百万円となり、前連結会計年度末と比較して、275百万円減少いたしました。これは主に、繰延税金負債が164百万円増加したものの、短期借入金が437百万円減少したことなどによるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末の純資産は22,260百万円となり、前連結会計年度末と比較して、1,518百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金555百万円、為替換算調整勘定504百万円、退職給付に係る調整累計額360百万円がそれぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は73.8%となっております。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して501百万円増加し、8,690百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は2,135百万円（前連結会計年度比47.4%増）となりました。

これは主に、減価償却費1,046百万円、税金等調整前当期純利益1,045百万円などによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1,108百万円（前連結会計年度比9.2%減）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出713百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出352百万円などによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は818百万円（前連結会計年度比767.6%増）となりました。

これは主に、短期借入金の純減額505百万円、長期借入金の返済による支出277百万円などによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期
自己資本比率 (%)	70.3	69.3	72.4	73.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	29.2	24.0	23.5	21.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	41.7	29.9	70.1	27.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	133.1	263.2	141.5	382.6

(注) 1. 次の算式に基づき、各指標を算出しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

3. 株式時価総額は、連結会計年度末株価終値×連結会計年度末発行済株式数により算出しております。

4. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

また、利払いについては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (4) 今後の見通し

当社グループの主要な取引先であります自動車産業界では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響、半導体不足、材料価格の高騰などの懸念事項はあるものの、CASEなどの新技術への投資は拡大する状況となっております。

当社はこれら新技術への対応を強化するとともに新たな販売体制のもと、受注の確保に努めてまいります。

これにより当社グループの次期通期連結業績につきましては、売上高21,960百万円（前連結会計年度比9.3%増）、営業利益770百万円（前連結会計年度比114.1%増）、経常利益990百万円（前連結会計年度比20.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益640百万円（前連結会計年度比3.9%減）と予想いたしております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,977,563	8,592,033
受取手形及び売掛金	3,325,792	2,896,945
電子記録債権	951,452	998,242
有価証券	461,684	673,531
商品及び製品	1,498,854	1,406,295
仕掛品	556,730	639,897
原材料及び貯蔵品	444,355	591,608
未収還付法人税等	67,078	—
その他	428,680	423,537
貸倒引当金	△73,239	△14,478
流動資産合計	15,638,953	16,207,612
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,853,958	1,819,062
機械装置及び運搬具(純額)	4,262,487	4,041,600
土地	1,456,649	2,129,848
建設仮勘定	23,123	110,201
その他(純額)	236,003	199,569
有形固定資産合計	7,832,222	8,300,282
無形固定資産	268,638	470,124
投資その他の資産		
投資有価証券	1,414,174	1,244,514
長期貸付金	4,599	6,080
繰延税金資産	348,519	474,952
その他	186,429	229,879
貸倒引当金	△28,174	△24,846
投資その他の資産合計	1,925,549	1,930,581
固定資産合計	10,026,410	10,700,988
資産合計	25,665,363	26,908,600

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,185,618	981,115
短期借入金	826,202	388,923
1年内返済予定の長期借入金	106,830	179,060
未払法人税等	46,015	150,165
賞与引当金	126,588	132,080
その他	1,530,194	1,406,061
流動負債合計	3,821,450	3,237,407
固定負債		
長期借入金	82,849	128,866
役員退職慰労引当金	—	41,940
繰延税金負債	—	164,343
退職給付に係る負債	848,894	810,445
その他	170,778	265,561
固定負債合計	1,102,522	1,411,156
負債合計	4,923,972	4,648,564
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,882,016	2,882,016
資本剰余金	4,162,614	4,162,607
利益剰余金	13,334,986	13,890,681
自己株式	△918,349	△1,042,493
株主資本合計	19,461,267	19,892,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355,232	323,230
為替換算調整勘定	△412,070	92,352
退職給付に係る調整累計額	△810,078	△449,868
その他の包括利益累計額合計	△866,917	△34,284
非支配株主持分	2,147,040	2,401,510
純資産合計	20,741,390	22,260,036
負債純資産合計	25,665,363	26,908,600

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
売上高	17,354,371	20,100,636
売上原価	13,640,642	15,606,117
売上総利益	3,713,729	4,494,519
販売費及び一般管理費	3,783,028	4,134,888
営業利益又は営業損失(△)	△69,299	359,630
営業外収益		
受取利息	40,100	44,673
受取配当金	25,365	29,063
持分法による投資利益	—	58,911
仕入割引	14,686	—
為替差益	9,584	180,757
技術指導料	62,667	52,054
その他	86,956	112,848
営業外収益合計	239,360	478,309
営業外費用		
支払利息	10,223	5,879
売上割引	770	470
持分法による投資損失	55,314	—
その他	6,834	7,786
営業外費用合計	73,141	14,136
経常利益	96,918	823,803
特別利益		
固定資産売却益	2,069	131,130
投資有価証券売却益	23,849	102,585
特別利益合計	25,918	233,716
特別損失		
固定資産除売却損	35,280	10,902
投資有価証券評価損	26,319	—
その他	—	875
特別損失合計	61,600	11,777
税金等調整前当期純利益	61,236	1,045,742
法人税、住民税及び事業税	120,294	315,437
法人税等調整額	993	△35,143
法人税等合計	121,288	280,294
当期純利益又は当期純損失(△)	△60,051	765,448
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△35,210	99,726
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	△24,840	665,721

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△60,051	765,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100,198	△32,001
為替換算調整勘定	△148,775	662,831
退職給付に係る調整額	422,586	372,132
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,328	△405
その他の包括利益合計	368,680	1,002,556
包括利益	308,629	1,768,004
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	403,584	1,498,353
非支配株主に係る包括利益	△94,955	269,650

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,882,016	4,162,607	13,562,331	△918,014	19,688,939
当期変動額					
剰余金の配当			△183,390		△183,390
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△24,840		△24,840
自己株式の取得				△435	△435
自己株式の処分		7		100	107
従業員奨励福利基金			△19,112		△19,112
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	7	△227,344	△335	△227,672
当期末残高	2,882,016	4,162,614	13,334,986	△918,349	19,461,267

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	255,033	△313,153	△1,237,222	△1,295,342	2,258,719	20,652,316
当期変動額						
剰余金の配当						△183,390
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△24,840
自己株式の取得						△435
自己株式の処分						107
従業員奨励福利基金						△19,112
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	100,198	△98,916	427,143	428,424	△111,678	316,746
当期変動額合計	100,198	△98,916	427,143	428,424	△111,678	89,074
当期末残高	355,232	△412,070	△810,078	△866,917	2,147,040	20,741,390

当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,882,016	4,162,614	13,334,986	△918,349	19,461,267
当期変動額					
剰余金の配当			△110,026		△110,026
親会社株主に帰属する当期純利益			665,721		665,721
自己株式の取得				△124,299	△124,299
自己株式の処分		△7		156	148
従業員奨励福利基金					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△7	555,694	△124,143	431,543
当期末残高	2,882,016	4,162,607	13,890,681	△1,042,493	19,892,811

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	355,232	△412,070	△810,078	△866,917	2,147,040	20,741,390
当期変動額						
剰余金の配当						△110,026
親会社株主に帰属する当期純利益						665,721
自己株式の取得						△124,299
自己株式の処分						148
従業員奨励福利基金						
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△32,001	504,423	360,210	832,632	254,469	1,087,102
当期変動額合計	△32,001	504,423	360,210	832,632	254,469	1,518,645
当期末残高	323,230	92,352	△449,868	△34,284	2,401,510	22,260,036

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	61,236	1,045,742
減価償却費	1,027,278	1,046,390
持分法による投資損益 (△は益)	55,314	△58,911
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△76,625	△52,207
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,130	—
役員退職慰労金	—	1,620
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,833	5,491
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,121	△71,793
受取利息及び受取配当金	△65,465	△73,596
支払利息	10,223	5,879
有形固定資産除売却損益 (△は益)	33,211	△120,227
投資有価証券売却損益 (△は益)	△23,849	△101,710
投資有価証券評価損益 (△は益)	26,319	—
売上債権の増減額 (△は増加)	639,042	535,331
たな卸資産の増減額 (△は増加)	221,233	123,854
仕入債務の増減額 (△は減少)	△368,838	△273,142
その他	11,876	309,652
小計	1,535,114	2,322,372
利息及び配当金の受取額	65,251	77,613
利息の支払額	△10,239	△5,582
法人税等の支払額	△141,563	△258,773
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,448,563	2,135,629
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△135,946
定期預金の払戻による収入	—	82,620
有価証券の取得による支出	△424,598	△207,526
有価証券の売却及び償還による収入	329,247	217,250
有形固定資産の取得による支出	△1,059,577	△713,454
有形固定資産の売却による収入	4,991	161,212
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△352,657
貸付けによる支出	△1,510	△2,859
貸付金の回収による収入	1,148	1,208
その他	△70,635	△158,770
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,220,933	△1,108,923
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	84,390	△505,948
長期借入れによる収入	136,167	200,000
長期借入金の返済による支出	△123,877	△277,056
自己株式の取得による支出	△435	△124,299
自己株式の売却による収入	107	148
配当金の支払額	△183,451	△109,990
非支配株主への配当金の支払額	△6,148	△1,035
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,058	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,307	△818,181
現金及び現金同等物に係る換算差額	△106,350	292,637
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	26,971	501,161
現金及び現金同等物の期首残高	8,162,636	8,189,607
現金及び現金同等物の期末残高	8,189,607	8,690,769

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(新型コロナウイルス感染症に関するその他の事項)

当社及び国内連結子会社は、新型コロナウイルス感染症の影響にともない、休業を実施したことにより支給した休業手当等について、雇用調整助成金の特例措置の適用を受け、助成金の支給見込額87,159千円を販売費及び一般管理費ならびに当期製造費用の給料手当から控除しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に超硬工具関連事業等ならびにこれらの附帯事業を事業内容としており、国内においては当社及び連結子会社2社が、海外においてはアジア（韓国、中国、インドネシア、タイ、インド）、北米・中米（米国、メキシコ）、欧州（ポーランド）及び包装資材関連事業を事業内容とするオセアニア（豪州）においてそれぞれの現地法人が事業を行っております。

現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、各地域における戦略を立案し、事業活動を展開しております。

なお、包括的なグループ経営方針等については当社がすべて統括し、各現地法人へ指示しております。

したがって、当社は生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「アジア」、「北米・中米」及び「オセアニア」の4つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高または振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への売上高	8,437,483	5,050,370	1,756,117	1,628,595	16,872,566	481,804	17,354,371	—	17,354,371
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,039,073	637,615	2,848	—	2,679,537	18,427	2,697,965	△2,697,965	—
計	10,476,556	5,687,985	1,758,965	1,628,595	19,552,104	500,232	20,052,336	△2,697,965	17,354,371
セグメント利益又は損失(△)	△279,046	△137,096	122,777	146,426	△146,940	5,854	△141,085	71,785	△69,299
セグメント資産	17,796,083	6,555,726	1,076,942	1,807,159	27,235,912	456,692	27,692,604	△2,027,240	25,665,363
その他の項目									
減価償却費	486,765	372,999	107,998	64,667	1,032,430	15,990	1,048,420	△21,142	1,027,278
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	—	—	—
持分法適用会社への投資額	—	38,348	—	—	38,348	—	38,348	—	38,348
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	654,532	224,789	61,793	23,399	964,514	51,832	1,016,347	△14,158	1,002,188

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2)セグメント資産の調整額、減価償却費の調整額、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への売上高	8,989,532	5,996,796	2,347,487	2,082,349	19,416,165	684,471	20,100,636	—	20,100,636
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,145,573	679,289	19	—	2,824,882	30,974	2,855,856	△2,855,856	—
計	11,135,106	6,676,085	2,347,506	2,082,349	22,241,047	715,445	22,956,493	△2,855,856	20,100,636
セグメント利益又は 損失(△)	△222,605	143,392	160,691	178,304	259,782	60,097	319,879	39,750	359,630
セグメント資産	18,095,040	6,946,967	1,171,916	2,172,532	28,386,457	463,733	28,850,190	△1,941,589	26,908,600
その他の項目									
減価償却費	505,478	358,588	109,001	73,579	1,046,648	17,815	1,064,463	△18,073	1,046,390
のれんの償却額	16,449	—	—	—	16,449	—	16,449	—	16,449
持分法適用会社 への投資額	—	93,035	—	—	93,035	—	93,035	—	93,035
有形固定資産及び 無形固定資産 の増加額	433,997	197,244	29,598	36,301	697,141	3,972	701,114	△7,258	693,856

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2)セグメント資産の調整額、減価償却費の調整額、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	超硬工具 関連事業	自動車部品 関連事業	包装資材 関連事業	その他事業	計
外部顧客への売上高	15,107,232	297,253	1,628,595	321,289	17,354,371

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

(1) 超硬工具関連事業……ホルダー、チップ、バイト、カッター・ドリル・リーマ

(2) 自動車部品関連事業…自動車用試作部品

(3) 包装資材関連事業……緩衝梱包材、断熱材、保冷剤

(4) その他事業……機械工具の設計及び販売、機械の販売、金型の製造及び販売

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:千円)

日本	中国	アジア	豪州	北米・中米	欧州	合計
8,437,483	2,908,317	2,142,053	1,628,595	1,756,117	481,804	17,354,371

(注) 売上高は、拠点の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	中国	アジア	豪州	北米・中米	欧州	合計
4,303,624	743,258	1,265,495	868,316	469,675	181,852	7,832,222

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2021年3月1日 至 2022年2月28日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	超硬工具 関連事業	自動車部品 関連事業	包装資材 関連事業	その他事業	計
外部顧客への売上高	17,181,443	313,269	2,082,349	523,574	20,100,636

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2. 各事業の主な製品

- (1) 超硬工具関連事業……ホルダー、チップ、バイト、カッター・ドリル・リーマ
- (2) 自動車部品関連事業…自動車用試作部品
- (3) 包装資材関連事業……緩衝梱包材、断熱材、保冷剤
- (4) その他事業………機械工具の設計及び販売、機械の販売、金型の製造及び販売、専用工作機械、汎用工作機械等の製造及び販売

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日 本	中 国	アジア	豪 州	北米・中米	欧 州	合 計
8,989,532	3,388,170	2,608,626	2,082,349	2,347,487	684,471	20,100,636

(注) 売上高は、拠点の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日 本	中 国	アジア	豪 州	北米・中米	欧 州	合 計
4,777,303	854,680	1,173,092	893,638	432,763	168,804	8,300,282

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2021年3月1日 至 2022年2月28日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2021年3月1日 至 2022年2月28日）

(単位：千円)

	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	その他	合計
当期償却額	16,449	-	-	-	-	16,449
当期末残高	-	-	-	-	-	-

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2021年3月1日 至 2022年2月28日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
1株当たり純資産額	5,069円80銭	5,550円62銭
1株当たり当期純利益金額 又は1株当たり当期純損失金額(△)	△6円77銭	183円24銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
1株当たり当期純利益金額 又は1株当たり当期純損失金額(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 金額(△) (千円)	△24,840	665,721
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失金額(△) (千円)	△24,840	665,721
期中平均株式数(千株)	3,667	3,632